

# 実践の特徴に応じて異なる総合的な学習の成果 —二つの中学校の実践から—

○角谷詩織

(お茶の水女子大学人間文化研究科)

無藤 隆

(お茶の水女子大学生生活科学部)

## 問 題

総合的学習は、中学生自身が、友だちや集団との協力の中で自らの興味に基づいて自ら選択し、様々なことに挑戦する環境という性質を有しており(山口, 2001), その中で自律性が満たされることが、適応とポジティブな関連をもつことも示されている(角谷, 2000; 角谷・無藤, 2001). 一方, 学校特性に応じた活動であることも求められている. そこで, 本研究では, 学校特性に応じた実践と生徒の意識の変化との関連から総合的学習の意義を検討する.

## 方 法

**調査時期** 質問紙法. 学習の観察とインタビューも予備調査として実施.

**調査時期** 1999年7月(第1回調査:T1), 2000年2~3月(第2回調査:T2), 2000年7月(第3回調査:T3), 2001年1~2月(第4回調査:T4)

**分析対象** 関東地方の公立X中学校におけるT1~T4全ての調査の有効回答者275名('99入学1年生131名, '98入学2年生144名), 公立Y中学校におけるT1, T2の有効回答者292名. ('99入学1年生141名, '98入学2年生151名)

**調査内容** フェイス・シートの他, 興味の広がり, 総合的学習での主体性に関する項目を使用した.

## 結 果

**総合的学習の特性** <X中学校>「実際に体験することで自分の心の中からの『問題意識』がもてるようになる」「・・・直接的な体験をすることによって生じる『戸惑い』『緊張』などに直面しながら学習を進めていく・・・」などのねらいをあげている.(研究報告書). 生徒の感想(例)「ぼくは耳の聞こえない人と接するのは初めてで, ちょっと緊張していた.・・・Kさんの出す声は何を聞いているんだかわからない.でも口の周りを見ていると何となくだけどわかる.(略)僕は, できるだけこのような人達の役に立ちたいと思った.」<Y中学校>「・・・課題解決能力や,・・・コミュニケーション能力,・・・情報活用能力を,生きていく上で大切な力=「生きる力」としてとらえ・・・」(研究紀要), 3つの「スキル」を身につける

ことを目的の中心としている. 生徒の手紙(例)「・・・会議室で, 沢山はなしてくれてありがとうございます.・・・私たちが, 答えにくい質問や, その時, わからなかった答えなどをちゃんと教えてくれて, ここのロージンさんは, いいところに住んでいるんだなあと思いました. いろいろ勉強になったので, ドリーム学習で, はりきってみんなに学んだことを発表できます.」

**得点の変化及び学校差** <興味の広がり>X中学校では両学年とも時期の主効果が有意だった( $p<.05$ ). 学校間比較(T1, T2)の結果, 1年生で時期の主効果が有意で,  $T1<T2$ だった. また, 1年生では, 交互作用が有意であり, X中で大きく上昇した. 2年生では学校差が有意で,  $X中>Y中$ だった. <総合的学習での主体性>X中学校では, 時期の主効果が'99入学1年生では5%水準で, '98入学2年生は10%水準でだった. 学校間比較の結果,  $X中<Y中$ だった( $p<.05$ ). また, 時期の主効果がみられた.

Table 1 平均値と標準偏差

		T1		T2		T3		T4		
		M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	
り興味の広がり	'99入学1年	X	4.08	.90	4.32	.82	4.09	.90	4.18	.79
		Y	4.33	.71	4.29	.70				
	'98入学2年	X	4.27	.94	4.22	.84	4.13	.90	4.35	.85
		Y	4.09	.85	4.01	.95				
で総合的学習の主体性	'99入学1年	X	3.48	.76	3.52	.83	3.51	.79	3.28	.90
		Y	3.73	.81	3.86	.83				
	'98入学2年	X	3.34	.78	3.21	.74	3.32	.82	3.38	.89
		Y	3.73	.94	3.71	.96				

## 考 察

X中学校の総合的学習は大規模な体験学習が中心で, 生徒は, 総合的学習を通して将来の職業への興味をもったり, 障害者へのまなごしを変化させたことを感想に記しているなど, そこに興味や視野の広がり, 私生活への広がりが見られる. 一方, Y中学校は, 自分で題材を見つけ, 調べたりインタビューをすることを通して, 調査, 発表に関する感想が多く書かれている. これらの特性が, 「興味の広がり」はX中学校の方が高い, あるいは高まりが見られ, 「総合的学習での主体性」はY中学校の方が高いという結果に反映されていると思われる.